



令和元年12月11日（水）
 担当：福島県保健福祉部
 地域医療課
 主幹 本田あゆみ 024-521-7221 内線 2853

今年のインフルエンザが注意報レベルを越えました
 ～感染拡大に注意しましょう～

福島県感染症発生動向調査週報2019年第49週（12/2～12/8）において、インフルエンザ定点医療機関からの患者報告数が1定点あたり12.81人（定点数県内83か所、報告数1,063人）となり注意報レベル（1定点あたり10.00）を越えました。

これは過去10年間で最も早く、昨シーズンよりも1か月早い状況です。

今後4週間以内に、さらに流行が拡大していくおそれがありますので、インフルエンザの予防方法等について改めて県民に周知してまいります。

また、台風第19号により避難所で生活をされている方については、集団生活により感染拡大のリスクが高まりますので注意が必要です。

報道機関の皆様におかれましても、県民への周知に御協力をお願いします。

＜インフルエンザサーベイランスによる流行の基準＞

	流行開始	注意報レベル	警報レベル
	1以上	10以上	30以上
1定点あたりの報告数 (現在の定点数：83)	流行期に入ったことを示します。	今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示します。	大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。一旦警報となった後は、10未満になるまで継続します。

1 福島県で注意報レベルを超えた時期

シーズン	時期
2019～2020 シーズン (今シーズン)	49週（12月2日～12月8日）
2018～2019 シーズン	1週（12月31日～1月6日）
2017～2018 シーズン	52週（12月25日～12月31日）
2016～2017 シーズン	51週（12月19日～12月25日）
2015～2016 シーズン	4週（1月25日～1月31日）
2014～2015 シーズン	50週（12月8日～12月14日）
2013～2014 シーズン	4週（1月20日～1月26日）
2012～2013 シーズン	1週（12月31日～1月6日）
2011～2012 シーズン	3週（1月16日～1月22日）
2010～2011 シーズン	2週（1月10日～1月16日）

2 インフルエンザの予防について

①予防接種

これから流行拡大が予測されますので12月中には接種を済ませましょう。

②こまめな手洗いの励行

外出後の手洗いは予防に有効です。アルコール製剤も効果があります。

③咳エチケットの遵守

咳やくしゃみ等の症状があるときは、鼻や口をティッシュ等で覆い、他人への感染拡大防止に努めましょう。早めにマスクを着用しましょう。

④体調管理

インフルエンザは身体の抵抗力が落ちると発症しやすくなります。日頃から、十分な睡眠、バランスの良い食事に心掛けましょう。

⑤適度な湿度の保持と換気

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。加湿器などを使って適切な湿度を保つことも効果的です。

また、定期的に換気を行いましょう。

⑥人混みへの外出を控える

インフルエンザが流行してきたら人が集まる場所への外出を控えましょう。やむを得ず外出する場合は、マスクをつけることが予防策の一つになります。なお、マスクは不織布製のものをおすすめします。